

## キャッシュレス時代到来で新機軸 カード入れが脇役から主役へ

現代人のライフスタイルとして浸透し始めたキャッシュレス志向。電車などの公共交通機関運賃や自動販売機など、使えるシーンが増え、ICカードは欠かせない存在になりつつあります。それに付随し、小銭入れにカードを収納する機能がついたものが増え、それを財布代わりにして、数枚のカードと最小限の持ち物だけで行動するかたも増えています。そごう・西武では、カード収納が充実したパスケースやスマホケース、小銭入れなど、カードを主役にした小銭入れを多数取りそろえご紹介いたします。

### 【そごう横浜店 コーナー展開】

- 展開期間: スマホケース: 3月31日(土)、パスケース・小銭入れ: 4月23日(月)まで
- 展開売場: 婦人雑貨売場
- 展開アイテム: パスケース約 60 型、スマホケース約 11 型、小銭入れ約 31 型 など
- 展開数量(上記アイテム計対前年): 型数・約4割増(約63型→約102型)※種類は約120種→約300種



【画像上】カード収納付きスマホケースコーナー

### ■スマホケースもパスケースもポイントは「カード収納」

行楽でもショッピングでも欠かせないアイテムは財布でしたが、ICカードの普及に伴い、スポットを浴びるようになったのがカード入れです。従来の「財布に小銭やお札だけでなくカードも何枚か入る」ではなく、使用頻度の高いカードが入る収納と、それ以外に必要な機能を合わせ持った雑貨が目立っています。荷物の最小化を考える際、「スマホのケースにカード収納機能がついていればそれで足りる」、「キーケース、小銭入れにカード入れがあればそれだけで出かけることができる」など、持ち物の中でも脇役であったカード入れは、今や主役になっています。特に、スマホケースはカードを数枚収納できる折り畳み式のもの的人气で、バリエーションが豊富に。昨年、3種だった品揃えは12種と大幅に増えています。



【画像右上】エポイ(Eepoi)／iPhoneケース  
14,040円、15,120円

### ■世界に合わせ、日本でも加速するキャッシュレス化

世界から見るとキャッシュレス化が進んでいない日本ですが、政府は現状約20%のキャッシュレス比率を10年間で2倍の40%まで引き上げる方針を打ち出しています。未だ現金主義が強いものの、物理的な利便性と安全性の高さから、ICカードやクレジットカードに対応する商業施設が増え、若年層を中心に利用率が向上。2020年に向けてインフラ整備も一段と進み、持ち物はカードを中心としたスタイルに遷移することが予想されます。

### 【画像右下】ツモリチサト／パスケース

(左)9,180円、(中)8,964円、(右)6,480円



※本リリースの掲載画像はイメージ、全て税込価格です。